

CEAS2.3 追加機能の利用法

1. 追加機能の概要

CEAS2.3 では CEAS2.2 に次の機能を追加しました。

- テキスト入力エリアにおける簡易エディタ（FCKeditor）の利用
- 授業メモの設定
- 音声の録音とファイルへの保存

以下では、これらの機能の利用法を説明します。

なお、CEAS2.2 で作成されたコンテンツはすべて CEAS2.3 上で利用できます。

2. テキスト入力エリアにおける FCKeditor の利用法

2.1 FCKeditor で可能な作業

FCKeditor を利用することで、テキスト入力エリアにおいて文字の大きさ、色、フォントなどを変更することができます。さらに画像や Flash ファイルも使用することができます（画像や Flash ファイルは一度、CEAS サーバーにアップロードする必要があります）。図 1 は FCKeditor で作成した記述式テストの実施画面の一部です。

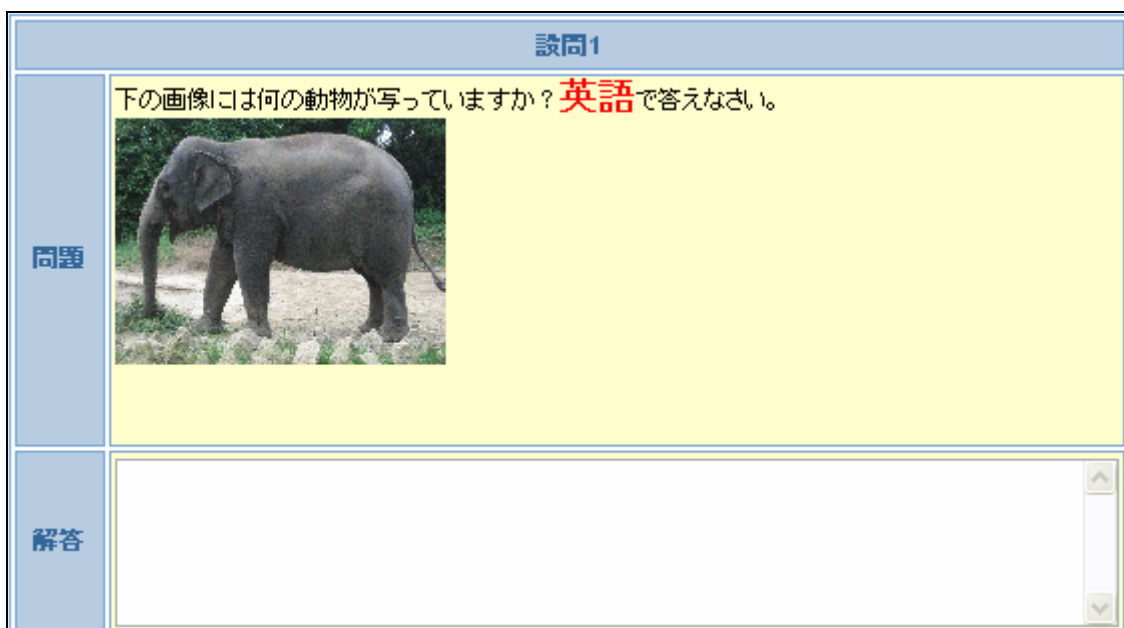


図 1 FCKeditor で作成した記述式テストの実施画面の一部

2.2 FCKeditor の利用方法

現在、FCKeditor が利用できるテキスト入力エリアは次の通りです。

- 「授業資料」機能での授業資料作成 / 編集
- 「選択式テスト作成」機能でのテスト作成 / 編集
- 「記述式テスト作成」機能でのテスト作成 / 編集

3. 授業メモ機能

3.1 授業メモ機能とは

CEAS2.3 には、担任している科目の授業回ごとに、学生には表示されないメモ「授業メモ」を作成、編集できる機能があります。授業メモは「教材割付」画面で作成、編集できます。

図3 授業メモを作成、編集する教材割付画面

作成、編集した授業メモは図4のように表示されます。学生から授業メモは見えません。


図4 担任者から見た授業実施画面

4. 音声の録音とファイルへの保存

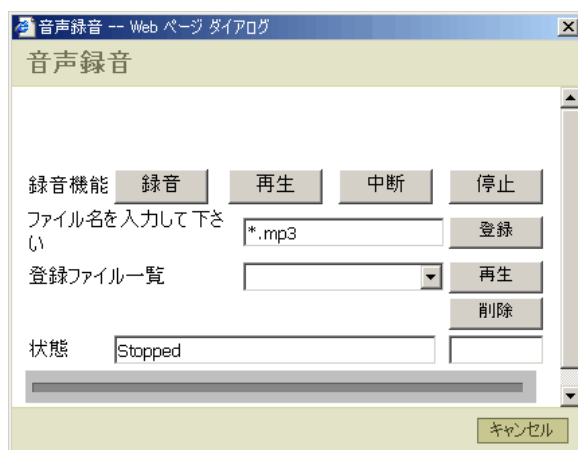
CEAS2.3 ではパソコンについでいるマイクから音声をそのまま mp3 ファイルとして録音し、CEAS 上のテストなどに利用することができます。この機能は FCKeditor で実現しているので FCKeditor が設定されているすべてのテキスト入力エリアで利用できます。音声ファイルを保存する際、作成中の 1 授業資料（記述式テスト、レポートなど）の中でファイル名は一意にする必要があります。したがって、同一科目に登録されているアンケートでも異なるタイトルのアンケートであるならば、ファイル名が同じであっても問題ありません。

4.1 録音方法（音声ファイル作成方法）

音声録音機能が FCKeditor のツールバーにあります。

メニューアイコンの  が音声録音登録ボタンです。

音声録音登録ボタンをクリックすると登録画面が表示されます。



録音するには、

- ①ファイル名を指定する。
- ②録音ボタンをクリックし、マイクに向かって話す。


（現在は、20秒まで）

- ③停止ボタンをクリックする。
- ④登録ボタンをクリックすると指定したファイル名でファイルが保存される。

図 5 音声登録画面

4.2 保存したファイルの利用方法

FCKeditor が利用できるテキスト入力エリアで、参照させたい文字を入力します。

参照させたい文字をドラッグし（選択状態）、リンクアイコン  をクリックします（図 6）。

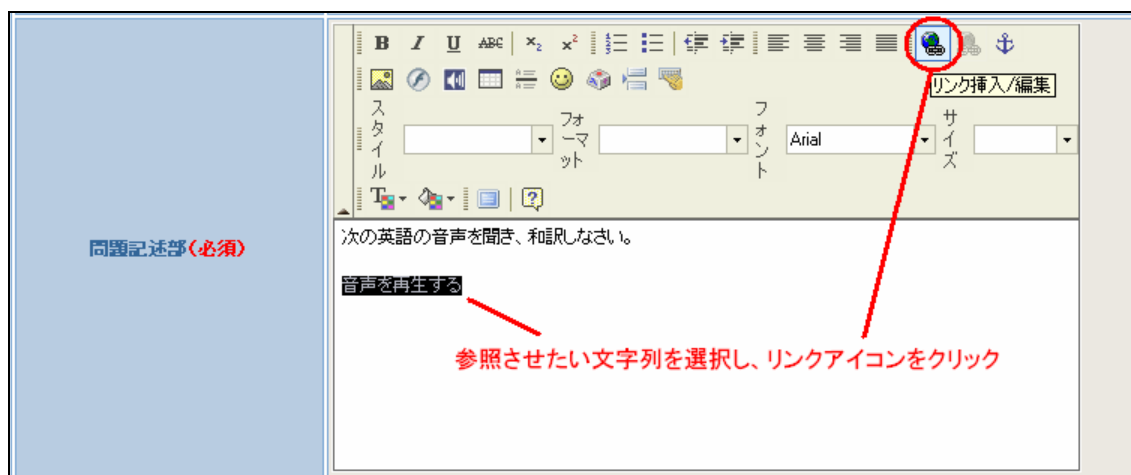


図 6 音声ファイル利用のテキスト入力エリア①

表示されたハイパーリンク設定画面から「サーバーブラウザー」ボタンをクリックしファイルマネージャーを表示します（図7）。

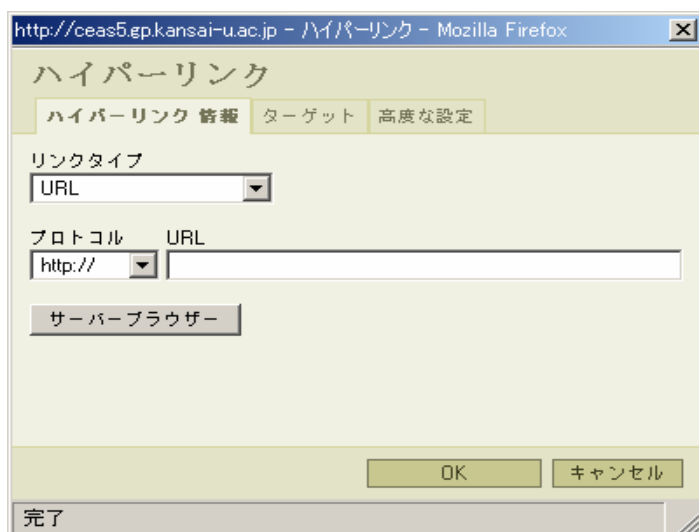
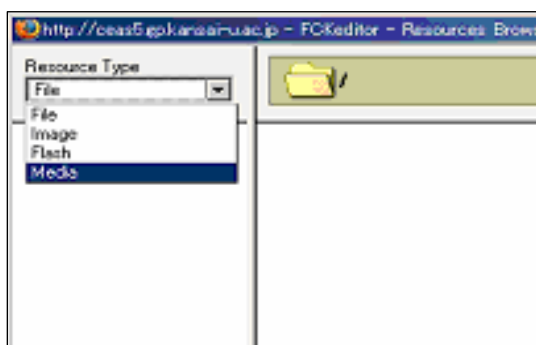
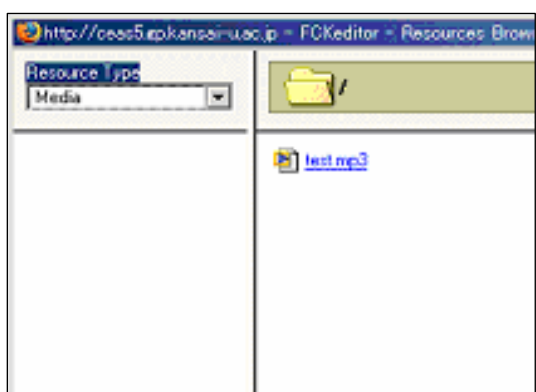


図7 FCKeditor のハイパーリンク設定画面①



表示されたファイルマネージャーの左上の Resource Type を Media に変更します（図8）。

図8 ファイルマネージャー①



録音されたファイルが表示されるので、選択します（図9）。

図9 ファイルマネージャー②

もとのハイパーリンク設定画面にパス等の情報が入力されているので「OK」ボタンをクリックします（図 10）。



図 10 FCKeditor のハイパーリンク設定画面②

選択した文字列に音声ファイルへのリンクが貼られています（図 11）。

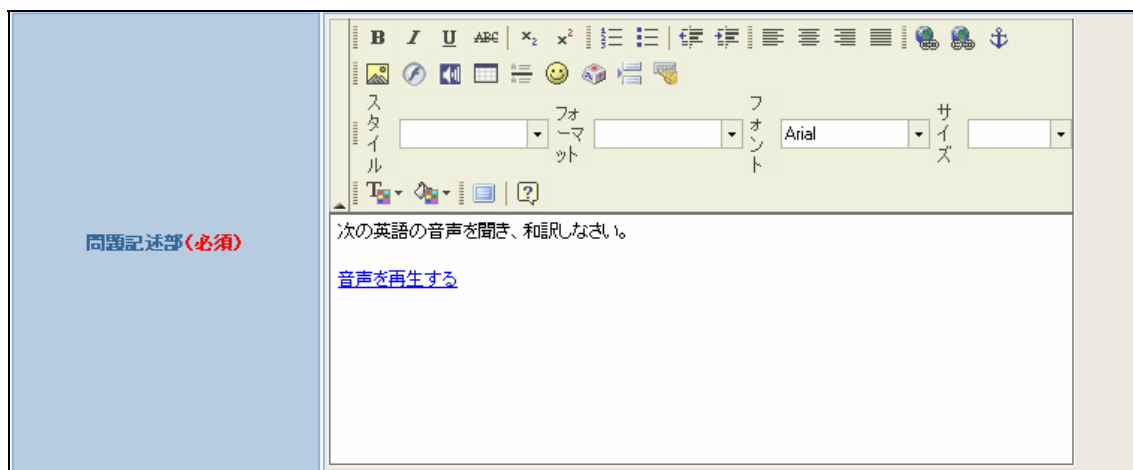


図 11 音声ファイル利用のテキスト入力エリア②

以上のようにして、音声ファイルを利用します。上の例の場合、学生が「音声を再生する」をクリックすると、音声ファイルを再生するソフトが自動起動し、音声再生されます。